

「若者が生活できる環境を」 まちづくり講演会を開催

11月3日、まちづくり講演会が文化会館で開催されました。姉妹都市の能登町で農家民宿を行う春蘭の里実行委員会事務局長の多田喜一郎さんが登壇。「地域の再生には若者が戻ってくることが大切。そのために、彼らが生活できる環境を私たちがつくっていかねければ」と訴えていました。



講演する多田さん。同委員会は、山村体験ができる農家民宿を行い、年間延べ1万人以上の宿泊客を呼び込んでいる団体です

東日本大震災の復興支援で 使われた移動図書館を寄贈

11月7日、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会から、市に移動図書館車と図書約1200冊が寄贈されました。これらは、東日本大震災の復興事業で使われていたもの。今後、熊本地震の復興支援や地域の図書活動の促進、イベントなどの参加などで活用していきます。



寄贈された移動図書館車は、宮城県亘理郡山元町で使用していたもの。山元町は市から職員の派遣などを行った自治体です



岡原さんは、市北部畜産振興会の会長や市畜産振興会連合会の理事を務めるなど市の畜産振興などに尽力いただきました

畜産振興など地域発展に尽力 岡原文男さんを市民表彰

11月3日、市の振興発展や市民生活の向上などに尽力した人をたたえる「小林市市民表彰式典」が文化会館でありました。市の畜産の振興、発展に貢献した岡原文男さんが産業経済部門で受賞。岡原さんは「身に余る光栄。今後も小林のために努力していきたい」と謝辞を述べました。



須田和博審査委員長（博報堂）から「満票でのグランプリ獲得。企画の見事さなどが全審査委員一致の推挙の理由」と評価いただきました

国内最大級の広告賞で グランプリ・総務大臣賞受賞

11月1日、東京で開催された国内最大級の広告賞「2016 56TH ACC CM FESTIVAL」で、市が昨年制作した市移住促進PRムービー“ンダモシタン小林”が、インタラクティブ部門（応募総数245点）でグランプリ・総務大臣賞を受賞しました。自治体のグランプリ受賞は全国初の快挙です。

栗・ゆずの付加価値確立目指し、 すきブランド協議会設立

10月24日、須木の主要作物である栗・ゆずのブランド化を目指して、すきブランド協議会が設立されました。生産部会、加工業者組織「すき物産協会」や商工会などで構成。今後、新商品の開発、イベントや物産展でのPR活動などを実施し、新たな販売方法確立による雇用創出を図ります。



設立式を開催。視察研修などを実施し、生産、加工両面からの意見集約に取り組みます

全国トップレベルの演技披露 新体操演技会を開催

10月29日、新体操演技会が市民体育館で開催されました。全国レベルの華麗な演技を生で見ようと市内外から約2000人が来場。選手たちの息の合った団体演技や個人競技のスティック、リング、ロープやクラブを使った演技が決まるたび、会場からは大きな拍手と歓声が送られました。



今年の3月に全国選抜で優勝した小林秀峰高校の選手ら。演技会には大学などで活躍する同部OBらも参加し、会場を沸かせました



堤団地集会所敷地内に設置された倉庫。西堤区ではこれらの備品を地域のイベントなどで活用していく予定です

地域の絆を深めるために活用 西堤区が地域活動の備品整備

西堤区は、コミュニティ助成事業（宝くじの助成金）を活用して、堤団地集会所の敷地内に物置、机、イス、ストーブ、扇風機やホワイトボードなどの地域活動に必要な備品を整備しました。今後、この備品を活用し、地域の絆を深める活動に役立てられることが期待されています。



講演する菊池さん。その他、西諸2市1町のPR動画の上映や活動事例の報告会なども行われました

女優の菊池桃子さんが登壇 男女共同参画フォーラム

10月29日、にしもろ定住自立圏共生ビジョン連携事業の一環として、高原町で男女共同参画フォーラムが開催されました。講演には、女優の菊池桃子さんが登壇。「次代を生きる子どもたちのために、女性と男性が互いに認め合う社会を作り上げていかなければ」と来場者に訴えました。

ひがしこくばるひでお
**東国原英夫さんが講演
介護予防フォーラムを開催**

11月19日、文化会館で介護予防フォーラムが開催されました。貯筋運動指導者、ボランティア活動、通いの場提供の3部門5人に表彰状の授与、介護予防活動実践報告、東国原英夫さんが講演を実施。講演では、「当事者の気持ちになって、介護予防活動に参画してほしい」と呼びかけました。



演題「どげんかせんといかん！小林市の介護予防」を講演する東国原さん。約850人が来場し、介護への理解を深めました



市長賞を贈られる受賞者。点呼に大きな声で返事をし、一人一人賞状を受け取りました。

**市内小中学生 59人を表彰
2016 小林市読書まつり開催**

11月19日、市立図書館で「2016 小林市読書まつり」が開催されました。市内小中学生に読書に勤しんでほしいと毎年開催。読書感想文・感想画コンテストの表彰式が行われ、保護者や学校関係者らが見守る中、小中学生59人に、市長賞・議長賞・教育長賞・図書館長賞が贈られました。

**希望の光を灯す看護師目指す
准看護学校で戴帽式開催**

11月10日、西諸医師会立小林准看護学校で戴帽式が行われました。式を迎えたのは1年生16人。生徒らは、ナースキャップを受け取り、ナイチンゲール像の火でろうそくを灯しました。園田定彦校長は「患者さんの心に寄り添い希望の光を灯す看護師になってほしい」と式辞を述べられました。



4月に小林西高校衛生看護科に入学した生徒たちは、戴帽式を経て、本格的な実習に入り准看護師の資格取得を目指します



この寄付金は「小林市愛のふるさと福祉基金」に積み、障がい者、児童や高齢者の地域福祉の向上のために使われます

**シルバークフェスタの益金寄付
「地域住民に恩返しできれば」**

11月10日、市シルバークプラザで開催された「第14回シルバークフェスタ」の実行委員会から、その益金5万円が市に寄付されました。今回で、寄付金の累計は160万円。山崎政志実行委員長は「いつもお世話になっている地域住民に少しでも恩返しができるとうれしい」と話していました。

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、野尻地区

輝けフロンティアのじりの3つの取り組み

現在、3つの取り組みに力を入れています。3つ目は、伝統文化を守る活動。一時途絶えていた東麓六月灯祭りを7月23日に復活させました。小学生、PTAや老人クラブは共同で灯籠の作成、中学生は事前にポスターの作成、住民は御幣のロープ張りなどを実施。当日は約600人の住民が参加し盛況でした。

1つ目は、耕作放棄地対策と高齢者の収入確保。昨年からの葉草のミシマサイコの試験栽培を取り組んでいます。生育も順調で期待できそうです。

2つ目は、各種団体、グループとの意見交換。地域で頑張る皆さんと意見交換し、野尻庁舎だ



みんなが協力してがんばりましょう！



ほりのうちふりこ 堀之内文彦さん
しいかむろ 四位和博さん

**観光振興につなげるため
市内10カ所の文化財を視察**

11月14日、市内の文化財の現状を把握し、日本版DMOの形成など観光施策に生かすため「文化財巡り」が行われました。市や観光協会、ガイドボランティア協会など22人が参加。新田場の田の神や二原遺跡公園、オオヨドカワゴロモの自生地など市内10カ所を視察しました。



新田場の田の神を見学する参加者ら。各視察地で、ガイドボランティア協会の会員からの説明を受けました



神話音楽劇「ドラマティック古事記」出演の舞踊家浅野瑞穂さんが女優柴田美保子さんの語りで舞う古事記天語りの一部「天女の舞」

**日向神話に関わり深い
霧島岑神社で神話の世界体感**

11月12日、古事記や日本書紀の日向神話に関わり深い霧島岑神社で「古の誘い」神話イベントが開催されました。太鼓、郷土芸能、ファイアーパフォーマンス、70年ぶりに復活した巫女舞や古事記天語りなどを披露。地元住民など500人が来場し、神話の世界を体感しました。

小林看護医療専門学校で誓いの式

10月21日、小林看護医療専門学校で「誓いの式」が開催されました。式を迎えたのは、看護学科、医療秘書学科の1年生44人。学生らは、誓いのことばを宣誓し、医療職を志す者としての誇りと自覚を保護者や来賓の前で、決意を新たにしました。



県道1号で育樹祭を開催

10月21日、沿道の美化と緑化を目的に、「県道1号みどりのトンネル育樹祭」が開催されました。事業所や市民ら約141人が参加。参加者は、県道1号の旧料金所から展望所までの約8キロにわたり、樹木の枝の除伐や清掃などを行いました。



日本ハンドボールリーグを開催

10月22日、日本ハンドボールリーグ小林大会が開催されました。市出身の甲斐昭人選手が所属するリーグ1位トヨタ車体と同2位豊田合成を1040人が観戦。試合は、ゴールキーパーの甲斐選手の好セーブなどの活躍でトヨタ車体が勝利しました。



シルバー人材センターが奉仕作業

10月22日、市シルバー人材センターは、毎年恒例の奉仕作業を行いました。この取り組みは、全国シルバー人材センター普及啓発月間の一環。会員ら300人が参加し、21班に分かれて市内各地の清掃や草刈りなどを行いました。



親子でドイツの伝統行事を楽しむ

11月11日、子ども達と一緒にランタンを作り、それを持って歌いながら歩くドイツの伝統行事「マーティンスターク（冬の始まりの日）」を開催しました。市内の親子24人が参加し、思い思いのランタンを作り、ドイツの文化に触れました。



五穀豊穡を祝い、ほぜまつり開催

11月3日、2016すきほぜまつりが須木地区体育館で開催されました。五穀豊穡を祝い、開催するまつりで、約800人が来場。子どもたちによるほぜっこ相撲、赤ちゃんの土俵入り、マグロ解体ショーなどを行い、たくさんの家族連れで賑わいました。



Vチャレンジリーグ2試合開催

11月20日、VチャレンジリーグI女子大会が市民体育館で行われました。4チームが市を訪れ、2試合を実施。プレーを観戦しようと市内外から約1400人が来場し、選手たちのスパイクなどが決まるたび、大きな歓声が起こっていました。



行政改革に関する提言書提出

11月15日、市民の意見を市政に反映するために設置している行政改革市民会議が、市に提言書を提出しました。種子田興市会長は、「職員の意識改革を行い、市の発展に取り組んでほしい」とあいさつ。今回提出された意見を各部署で検討していきます。

